2　資料及びコメントの提供方法　上記1⑵の物品に関する一般的な参考資料及び同⑸の要求要件等に関するコメント並びに提供可能なライブラリーに関する資料等の提供を招請する。
⑴　資料等の提供期限　平成29年12月４日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）
⑵　提供先　〒700―8558 岡山市北区鹿田町２－５－１　国立大学法人岡山大学　岡山大学病院経営・管理課調達グループ政府調達担当　宮地　洋子　電話086―235―7540
3　説明書の交付　本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。
⑴　交付期間　平成29年11月１日から平成29年12月４日まで。
⑵　交付場所　上記2⑵に同じ。
4　説明会の開催　本公表に基づく導入説明会を開催する。
⑴　開催日時　平成29年11月８日10時00分
⑵　開催場所　国立大学法人岡山大学医学部管理棟中会議室
5　その他　この導入計画の詳細は導入説明書による。なお、本公表内容は予定であり、変更することがあり得る。
6　Summary
⑴　Classification of the products to be procured : 14
⑵　Nature and quantity of the products to be rent : Physiological Laboratory System 1 Set
⑶　Type of the procurement : Rent
⑷　Basic requirements of the procurement :
A　Physiological Laboratory System must consist of Physiological Networking System, Epilepsy EEG Monitoring Data Management System, Neurology Data Management System.
B　Physiological Laboratory System can connect to and also control the data of electrocardiography, exercise test, cardiovascular inspection, sleep apnea test, respiratory function test, ultrasonography, electroencephalography, evoked potentials EMG inspection, intraoperative monitoring.
C　It's possible to connect medical equipment on-line.
D　The all data which is saved in the current server of Physiological Laboratory System must be transferred to the new server.
E　This system should be online-connected to Integrated Hospital Information System, Clinical Research Support System, Image System, Blood Urine Collection System, SS-MIX2 Standardized Storage.
F　The function which can do the information cooperation for which standard specifications are used is possessed.
G　Abrogate the present Physiological Laboratory System including personal information.
⑸　Time limit for the submission of the requested material : 17 : 00　4 December, 2017
⑹　Contact point for the notice : Yoko Miyaji, Procurement Section, Management Division, Okayama University Hospital, 2―5―1 Shikata-cho Kita-ku Okayama-shi 700―8558 Japan, TEL 086―235―7540

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。
平成29年11月１日
大学共同利用機関法人
自然科学研究機構長　小森　彰夫
◎調達機関番号　416　◎所在地番号　21
○第１号―核融合
1　調達内容
⑴　品目分類番号　14
⑵　導入計画物品及び数量　スーパーコンピュータシステム　一式
⑶　調達方法　借入
⑷　導入目的　核融合プラズマは、ミクロの電子やイオンのダイナミックスからマクロのプラズマ輸送までの多数の異なる時空間スケールをもつ多階層非線形過程と炉心で発生する核燃焼過程から炉壁でのプラズマ壁相互作用に至るまでの複合物理過程に支配された多階層・複合物理系となっている。本研究所では、その創設以来、核融合プラズマをはじめとする多階層・複合物理系に対しスーパーコンピュータを用いた理論・シミュレーション研究を行い、広く核融合プラズマの学理と応用に関する研究で、特筆すべき成果を上げてきている。平成22年４月に発足した数値実験炉研究プロジェクトでは、これまでのシミュレーション研究を発展させ、核融合プラズマ閉じ込めの物理機構解明とその体系化を行うと共に、予測性を有するシミュレーションコード体系「ヘリカル数値実験炉」の構築を目指したシミュレーション研究を推進している。本システムは、核融合科学研究所において多階層・複合物理系としての核融合プラズマ全体を研究対象とする数値実験炉研究プロジェクトのシミュレーション研究を遂行することを目的として導入するものである。
⑸　導入予定時期　平成31年度９月以降
⑹　調達に必要とされる基本的な要求要件
A　スーパーコンピュータは、現有機（富士通株式会社製ＰＲＩＭＥＨＰＣ　ＦＸ100　2592ノード）の４倍程度以上の実効的な総合演算性能を有すること。但し複数年の契約期間において、演算能力の向上により、平均的に要求性能に達する場合も含む。また、単一アーキテクチャー構成である必要はない。
B　スーパーコンピュータの主記憶容量としては、320テラバイト以上を有すること。
C　外部記憶装置として、大規模シミュレーションの実行結果を高速に蓄積しうるストレージシステム、及び大規模なデータを長期にわたって保存するための十分大きな容量を持つ信頼性の高いストレージシステムを、総量で40ペタバイト以上具備すること。
D　ユーザプログラムを保管・供給するための動作信頼性の高いファイルサーバを具備すること。
E　本システムを既設の所内ＬＡＮと接続し、またサーバ群及びユーザ端末群とは高速で接続し、そのための通信制御装置等を具備すること。
F　所外からの利用のためのゲイトウェイ、プログラムのコンパイルとバッチジョブ投入のためのフロントシステム、データ解析サーバ、及び可視化処理サーバを具備すること。
G　オペレーティングシステムはＵＮＩＸに準拠し、スーパーコンピュータは、バッチ処理機能を有すること。
H　スーパーコンピュータは、ＦＯＲＴＲＡＮ、Ｃ、Ｃ＋＋等の言語、ＭＰＩ等の並列プログラミング環境、及びプロファイラを含む開発環境、アーキテクチャーに最適化された並列科学技術計算ライブラリを備えること。
I　無停電電源装置、及び冷却装置を備えていること。
J　ハードウエア及びソフトウエアの保守支援体制、更にプログラム等の開発支援体制を備えること。
2　資料及びコメントの提供方法　上記1⑵の物品に関する一般的な参考資料及び同⑹の要求要件等に関するコメント並びに提供可能なライブラリーに関する資料等の提供を招請する。
⑴　資料等の提供期限　平成29年12月13日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）
⑵　提供先　〒509―5292 岐阜県土岐市下石町322―６　自然科学研究機構核融合科学研究所管理部財務課調達係長　松原　智久　電話0572―58―2038
3　説明書の交付　本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。
⑴　交付期間　平成29年11月１日から平成29年12月13日まで。
⑵　交付場所　上記2⑵に同じ。
4　説明会の開催　本公表に基づく導入説明会を開催する。
⑴　開催日時　平成29年11月８日14時00分
⑵　開催場所　自然科学研究機構核融合科学研究所シミュレーション科学研究棟１階会議室
5　その他　この導入計画の詳細は導入説明書による。なお、本公表内容は予定であり、変更することがあり得る。
6　Summary
⑴　Classification of the products to be procured : 14
⑵　Nature and quantity of the products to be rent : Supercomputer System 1 Set
⑶　Type of the procurement : Rent
⑷　Basic requirements of the procurement :
A　The total processing performance of the supercomputer is to exceed effectively about 4 times of that of the currently running machine (Fujitsu PRIMEHPC FX100, 2592 nodes). The supercomputer